

地域活性化シリーズ

津軽海峡物語

[発行] エコハ出版

[著] 鈴木 克也

- ・新幹線の開通、縄文遺跡群の世界遺産への登録運動をきっかけに「津軽海峡圏」構想の現実的課題を探る。
- ・縄文時代から続く共通文化圏であり、日本文化の源流として世界に情報発信する価値がある。
- ・外国人観光客の増加を見込んだスケールの大きな広域観光圏。
- ・海の幸山の幸を中心とした「食のクラスター」に磨きをかけ「食の王国」を構築。
- ・津軽海峡を活用した水産資源の保全・育成や環境ビジネス等の新しいプロジェクトの開発。

◆目次

はしがき

第1章 津軽海峡の自然

第2章 津軽海峡交流史と「津軽海峡圏」構想

第3章 北海道・北東北縄文遺跡群

第4章 松前藩時代の津軽海峡

第5章 津軽海峡を挟んだ地域の生活文化

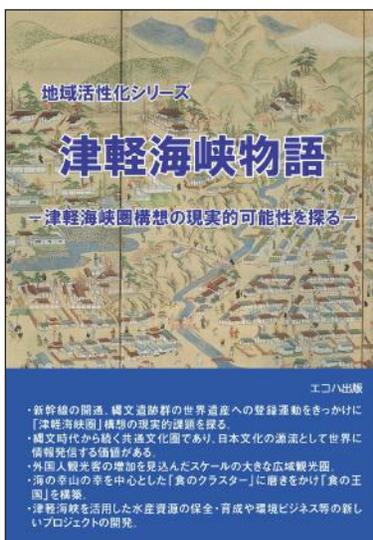
第6章 津軽海峡・広域観光圏

第7章 津軽海峡圏「食の王国」

第8章 新しい水産環境整備と津軽海峡

第9章 津軽海峡の未来

むすびにかえて



ご注文申込書 貴店名 / 帖合	注文数	発売：株式会社三恵社 Tel 052-915-5211 Fax 052-915-5019
	冊	[発行] エコハ出版 [編] 鈴木 克也 地域活性化シリーズ 津軽海峡物語 —津軽海峡圏構想の現実的可能性を探る— 190頁 / A5版 / 並製 定価 2,000円 (税別) ISBN 978-4-86693-071-8 C1025
ご注文は、JRCへ FAX:03-3294-2177 (TEL:03-5283-2230) 株式会社JRC経由で、すべての取り次ぎへの出荷が可能です。返品は長期にお受け致します。		